

非常持ち出し品を準備しよう

懐中電灯

できれば1人に1つ。
予備の電池も忘れずに。



携帯ラジオ

予備の電池は多めに用意。

非常食

乾パン、缶詰など火を通さなくても食べられるものやミネラルウォーターなど。缶切り、栓抜き、紙皿、紙コップ、水筒なども用意。



貴重品

現金、預金通帳、印鑑、免許証、権利証書など。

救急医薬品

ばんそうこう、傷薬、包帯、カゼ薬、胃腸薬、鎮痛剤など。



その他



□下着、上着などの衣類、タオル、生理用品、粉ミルク、紙おむつ、ウエットティッシュ、カップ、ヘルメット、ライター、ラップ(止血や汚れた食器にかぶせて使う)など。

※家族構成など家族の状況に合わせて必要なものを追加してください。

毎週定期に水曜日と土曜日の朝夕6時30分と19時30分に行政からのお知らせを、戸別防災行政無線及び公民会放送設備を通して放送しています。定期放送は、お知らせをすると同時に、備え付けてある無線機の故障はないか、しっかり聞こえるかなどの確認・点検も併せ持ちます。

町防災行政無線の本来の目的は、災害時の避難情報など町民の生命・財産に係る緊急を要する情報を伝達するための手段として使うことです。

町防災行政無線

聞こえてますか？

住宅内で人が常に居るところで聞こえますか。

十分内容が聞こえる音量にしておりますか。

戸別受信機のあるところは、乾電池を定期的に交換してありますか。

常に確認点検をしましょう。



早めの情報収集が大切

雨期や台風シーズンは、風水害や土砂災害が集中して起こっています。特にこの時期は、気象情報などに注意しましょう。

鹿児島地方気象台

<http://www.fukuroka-ima.go.jp/kagoshima>

(財)日本気象協会お天気w.e.c九州

<http://www.jwaq.gr.jp>

国土交通省 川の防災情報サイト

<http://www.river.go.jp>

河川情報テレホンサービス

☎0996-221300

避難発令の種類

町民の生命が危険であると町長が判断した場合は、町防災行政無線や広報車で、避難情報を発令します。

避難準備情報の基準

- ・暴風で風速20mを超え、更に強くなる場合。
- ・豪雨で連続雨量100mmを超え、更に時間雨量30mmを超える場合。
- ・鶴田ダムの放流量が毎秒900mを超え、または川内川水位観測所水位がはん濫注意水位に達し更に増える見込みのある場合。

その他の場合周囲の状況から判断し、危険が予想されるとき。

避難勧告の基準

- ・暴風で風速30mを超え、更に強くなる場合。
- ・豪雨で連続雨量100mmを超え、更に時間雨量50mmを超える場合。
- ・鶴田ダムの放流量が毎秒1100mを超え、または川内川水位観測所水位が避難判断水位に達し更に増える見込みのある場合。
- ・その他の場合避難準備の段階により、悪化した場合。

避難指示の基準

- ・災害発生が避難勧告の段階より、悪化した場合又は突然に災害が発生したとき。
- ・鶴田ダムの放流量が毎秒1300mを超え、又は川内川水位観測所水位がはん濫危険水位に達したとき。